

千葉大学画像系学科 百周年記念事業を 2016年10月に開催 記念誌、画像集の発行も

千葉大学工学部の画像系学科は1915年（大正4年）の創立以来1万余名の卒業生を輩出し、これまで写真、印刷、画像の各界において指導的立場で活躍する人材を育ててきた。同学科が創立100周年を迎えたことを記念した事業が行われる。この事業について、画像工学同窓会で会長を務める湯本好英氏（グラパックジャパン(株)代表取締役社長）、五百旗頭忠男氏（(一社)日本WPA事務局長）、郡司秀明氏（(公社)日本印刷技術協会 専務理事）らはIGAS2015会期中の9月14日、東京ビッグサイトにて記者会見を開き、概要を発表した。

記念事業を行うにあたり、湯本氏は「我らの同門がたくさん活躍しています。画像学部は千葉大の大きな特徴。この学科によって画像にまつわる優れた性能を持つメイドインジャパンの機器ができた。画像工学は日本の産業にとって非常に重要」と述べた。

100周年記念事業は、2016年10月15日（土）午後、千葉大学西千葉キャンパス内けやき会館において創設百周年記念式典と、フードコートでの祝賀会を開催する。なお、同日午前中には学内の見学も予定されている。

その他にも、「千葉大学工学部画像百周年記念未来への画像」（仮称）と「千葉大学工学部画像百周年記念画像集」（仮称）を発行や、「画像教育の未来を考える「イメージング教育ラボ（仮称）」の設置などが予定されている。記念画像集は、日



グラパックジャパン(株)の
湯本好英社長

本の画像技術や芸術的感性、機能を施した画像関連の作品集となる予定。現在、同画像集への掲載作品を募集中。作品応募要領は次頁の通り。

併せて、これら記念事業に対して寄付金も募っている。各事業の詳細や応募要領は、千葉大学画像系学科百周年会 WEB サイト（<http://gazo-chiba-u.jp/>）を参照。また、同サイト内のフォームにメールアドレスを登録することで随時案内が配信される。



郡司秀明氏。イメージング教育ラボ（仮称）について「大学生はもちろん、高校生、中学生、小学生が訪れて面白いなど思ってもらえるスペースを考えている」と述べた



司会を務めた五百旗頭忠男氏

画像系学科百周年記念事業

●創設百周年記念式典と祝賀会

2016年10月15日（土）千葉大学西千葉キャンパス

午後1時より記念式典（けやき会館）、午後3時より祝賀会（フードコート）

参加費：当日7000円、早期振込割引：6200円（2016年7月末まで）

●千葉大学工学部画像百周年記念 未来への画像（仮称）の発行

仕様：A4判縦組、100頁、頒価：4000円（税別、送料込）

●千葉大学工学部画像百周年 記念画像集（仮称）の発行

テーマ：質感、デザイン、アート、訴求力、機能等を表現するもの（公序良俗に則したもの）

募集数：150点（申込先着順）

発行部数：1000部

発行日：2016年10月15日予定

予価：1万円（税別）

出品料：1点につき3万円（1部無償提供）

画像集仕様：A4判、横組（左開き）、リングバインダー製本、ハードケース入り

作品使用：サイズA4縦長表裏印刷、厚さ基本0.2mm以上0.5mm以下（規格外は別途相談）、用紙1枚

※作品タイトル、キャッチコピー、企業名・個人名、作品、技術紹介など、テンプレートは2016年1月頃、データ配布を予定

問い合わせ先

千葉大学工学部画像百周年会 記念画像集担当 渡辺、李

〒131-0034 東京都墨田区堤通2-7-38 グラパックジャパン(株)内

TEL.03-3616-1290 FAX.03-5630-1186 メール：y_watanabe@grapac.co.jp



画像集イメージ

●イメージング教育ラボ（画像系学科独自の展示館）整備と維持基金の創設

●画像系学科画像教育事業の支援